

令和 4 年度栃木県立馬頭高等学校 第 4 回学校運営協議会 議事録

日 時 令和 5 年 2 月 1 6 日 (木)

14 : 00 ~ 16 : 00

場 所 栃木県立馬頭高等学校 会議室

1 開会 [教頭]

2 会長あいさつ [若園]

重要な議事がある。よい内容にしていきたい。那須塩原に引っ越した。なかなか子供の姿が見られない。地域の声を出す必要性を感じる。ご意見よろしくお願いします。

3 校長あいさつ [校長]

第 3 回以降の学校の様子を紹介したい。

- ・特色選抜入試で普通科 10 名、水産科 8 名が合格内定。来月には一般選抜。受検者数が厳しいことが予想される。
- ・2 年生が修学旅行に行ってきた。3 年ぶりの実施。生徒はきびきびと行動してくれた。貴重な経験ができた。コロナ感染もなかった。3 年生は 1 泊 2 日で東京ディズニーランドに行ってきた。1 年生は大洗水族館 1 日バス旅行。
- ・卒業式まであと 2 週間。3 年生は学校生活スタートから長期休業を経験してきた学年。困難な中、成長してきた学年である。本校で学び経験したことを活かしてもらいたいと思い、送り出したい。
- ・2 年生が全国水産科発表会で優秀賞を受賞。昨年度の卒業生が作製したしもつかれの缶詰が注目された。農業と環境において、幼児たちとの交流、レスリング部が年末の関東大会で優勝（個人）し、来年度全国大会に出場する。
- ・ワーキンググループによる検討もおこなわれている公営塾の実現のためには困難もある。馬頭高校を希望する生徒が増えるような取り組みを考えていけたらと考えている。ほか、「ナカスイ」の紹介（本校を題材とした小説）

4 議事

(1) 令和 5 年度栃木県立馬頭高等学校 経営方針について [校長からの説明]

資料 P 2

2 スクールミッションについて

R 2 の答申に基づいて作製されたもの。再定義が義務づけられた。以下、P 2-2 [参考] を説明

3 グラデュエーション・ポリシーについて

4 カリキュラム・ポリシーについて 以下 P 2 参照

資料3以降は基本的にこれまでと変わらない。

私（小池）は今年度で退職。次の校長に引き継いでいく。

〔質疑応答〕

特になし

（2）公営塾について

①ワーキンググループによる進捗状況確認及び討論〔益子〕

過去2回話し合い。素案の段階である。資料に基づき説明。具体的な活動内容はこれから議論しながら詰めていく。馬頭高校生のためになる高校魅力化プロジェクトを進めてきたい。地域おこし協力隊も配置される。

〔以下小高〕

ワーキンググループでの話し合いをまとめた概略資料【別紙文責：高橋】で説明。

○運営委員会で出た懸念事項の紹介

（1）生徒側のニーズがあるのか

・ニーズの把握をアンケートでして欲しい。

（2）責任はどこが持つのか

・町側から出た話であるが、学校が対応するのは趣旨が違うのではないか。

（3）教員の負担増・教育活動の阻害につながるのでは

・定時以降の開催になると、教員の負担になるのでは。部活動との兼ね合い

（4）目的が広く、ゴールが予想できない。

・生徒への説明がしにくい。そもそも実施すること前提で動いているのか。であれば、今後のタイムスケジュールを示して欲しい。

○職員会議後の教員からの意見【別紙】・・・別紙の通り（校内ではなく校外に置くことがよいのではないかなど）おおむね好意的な意見が多かった。

【別紙文責：高橋】を元に公営塾についての説明。

〔若園〕

公営塾に関して、前回の第3回で進めるよう提案させていただいた。公営塾について議論を求める。

（2班でそれぞれ意見交換：15分程度）および換気実施

〔渡辺〕グループ1

公の意味。高校も公、町も公。町の特色として活かしてもらいたい。両方の公の意味がある。なすり付けの感を感じる。茂木高校のような事例（進学に特化）を目指すのではなく、面白い、興味を持ったテーマでやってもらう。とりあえずやってみるでよいのではないか。

〔小川〕グループ2

もう少し目的を絞ってはどうか。地域が抱える問題・学校が抱える問題がそれぞれあるので懸念はやむを得ない。総合的な課題を見ながら、方向を見いだしていければ。

〔校長〕グループ2

できることから話を進めていく。持続可能でなければいけない。自立自律ができる組織でなければいけない。学校から財政的な持ち出しがなく、教員の負担がない（橋渡しの教員はいるにしても）ようにすることがポイントになるのでは。

〔小高〕事務局側

目的が広すぎると生徒に説明しづらい。わかりやすく示さなければならない。生徒のニーズを調べることをまず先決に。（学校がそれをするとは違うのでは）

〔益子〕

町が交付金を活用しながら地域おこし協力隊に貼り付けた経緯がある。これから行政との話し合いで解決できる部分がある。行政が自ら説明に行くということが欠けていた。多方面から様々なサポートをさせていただければと思う。説明不足の箇所を説明できれば。

②まとめ〔若園〕

方向性はいろいろあると思う。だれがどこをどう負担するのか。知恵を絞っていただく。ワーキングで現実的な方向を見いだして欲しい。月に何回か試してみる。ライト（軽いイメージ）な何かを考えて行きたい。

（3）学校評価〔青木〕

【別紙】

（生徒184名 保護者164名 教職員38名による回答）

- ・例年2年生が中だるみの傾向が見られるが、各学年とも肯定的な意見が出ている。部活動に対しては低めの結果。
- ・部活動に対しては特に教員が低めの回答。保護者・生徒側は教員側よりも肯定的である。
- ・特別活動に関する回答・・・昨年度よりも高い評価。学校祭をはじめ生徒が主体的に取り組んだ結果だと思う。
- ・進路に関して・・・資格取得に対して生徒の関心が高まっている。教員側の努力が見られる。
- ・委員の皆様には外部評価としてこの後評価を提出してもらいたい。

質問〔若園〕

- ・部活動は毎年減少しているのか

回答〔校長〕

- ・前任の校長の時に野球部が廃部になった。内規通りだと数多くの部活動が消滅する。猶予を持たせている。合同チームであれ何であれ、大会に出させてあげたい。

質問〔若園〕

- ・部活動はどれくらい入っているのか。

回答〔青木〕

- ・1年生は全員加入が義務づけられているが、現状5割を切っていると思われる。家庭の経済状況などからアルバイトをしている生徒も多い。

質問〔小川〕

- ・「入学してよかった」に対する回答が、学年が上がるにつれて下がっている。

回答〔青木〕

- ・コロナの影響が大きいのではないかと考える。真摯に受け止める必要もある。

質問〔渡辺〕

- ・他の高校も同様の評価を実施しているのか。

回答〔青木〕

- ・質問内容はそれぞれの学校で設定しているが、同様の評価は行っている。

質問〔若園〕

- ・部活動の啓発は。

回答〔青木〕

- ・レスリング部では中学生と合同で練習を行うこともある。馬頭高校としてということではなく、栃木県として啓発を行っている。

(4) その他

- ・特になし

(評価用紙の記入に充てる)

5 その他

①封筒の紹介(緑バージョン)

②「ナカスイ」の内容を一部紹介

[事務連絡]

- ・令和5年度学校運営協議会委員及び日程について

①委員の皆様への感謝

②令和5年度第1回委員会は5月か6月に実施予定

[校長より挨拶]

6 閉会〔教頭〕